

第3回 港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会  
議事概要

日時：令和6年3月6日（水）10:00～12:00

場所：（一財）沿岸技術研究センター 会議室

出席者：善委員長、菊池委員 他

1. 主な議事

- 事務局より、“新技術カタログ（案）”について、報告を行った。
- 事務局より、“新技術カタログ”の活用方針について、報告を行った。

2. 主な意見等

【“新技術カタログ（案）”について】

- ・「栈橋上部工の施工作業効率化に資する技術」へ応募のあった技術の内、海外での実績があるものの、国内の基準に照らした検討が不十分である技術については、“新技術カタログ”の掲載の対象外とする必要があるのではないか。
- ・「吸い出し防止対策に資する技術」へ応募のあった技術の内、「防砂板の新設での代替工法」、「防砂板の新設での補助工法」については、設計思想が確立されていないことから、今回の“新技術カタログ”の掲載の対象外として、今後の対応については別途検討する必要があるのではないか。
- ・「吸い出し防止対策に資する技術」へ応募のあった技術の内、設計段階で材料等の耐久性を検討することが望ましい技術については、留意事項に明記する必要があるのではないか。また、耐久性に関して具体的な検証実績等がある場合は、概要書に追記した方が良いのではないか。

【“新技術カタログ”の活用方針について】

- ・“新技術カタログ”の策定趣旨・活用方法等を浸透させるために、“新技術カタログ”を利用する者（発注者・設計コンサルタント等）に対して、カタログの内容等を説明する場を設けてみてはどうか。
- ・開発者にとっては、現地での実証実験を実施することはハードルが高いため、実証実験等を支援するような制度や枠組みも整備する必要があるのではないか。
- ・今後、カタログに掲載する技術情報の掲載期間、フォローアップ内容等について、具体的な検討をしていく必要があるのではないか。

以 上